株式会社クラレ

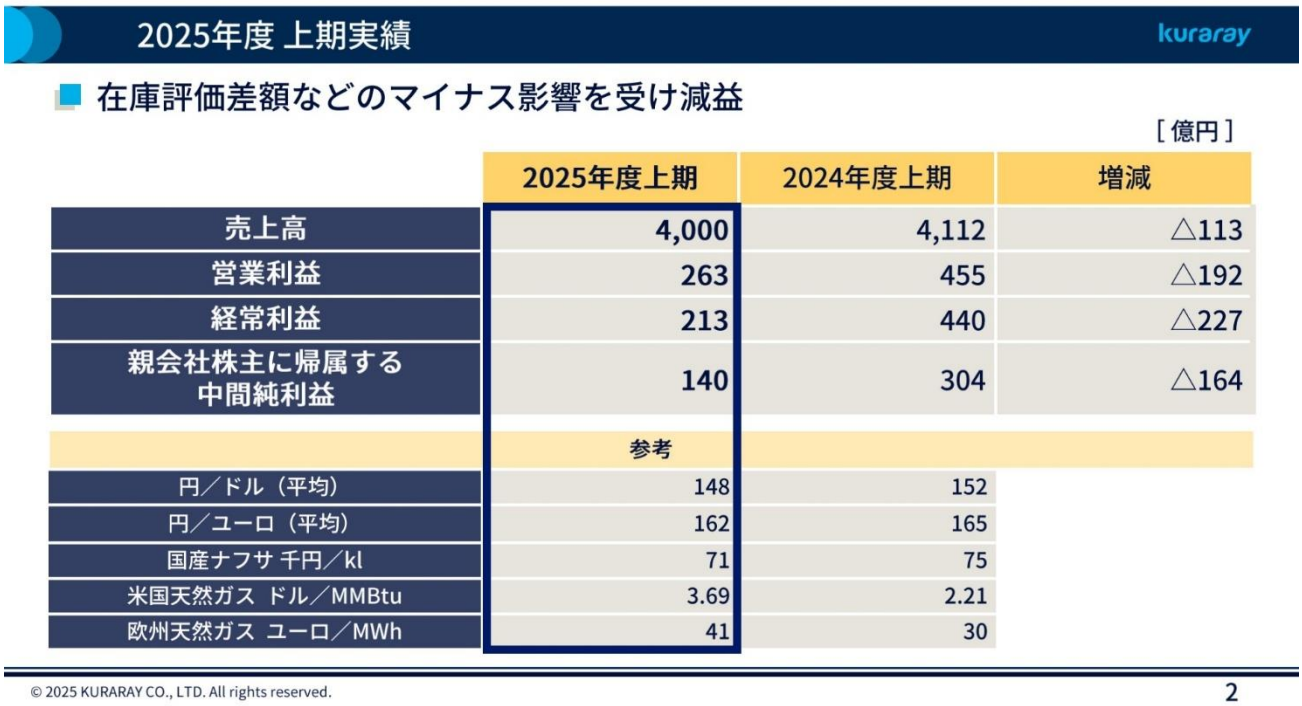
2025 年度第 2 四半期決算説明会

説明者

代表取締役社長　川原　仁

常務執行役員 経営企画室担当　　藤原　純一

2025 年 8 月 8 日



川原：社長の川原でございます。本日はよろしくお願いいたします。それでは、2025 年度第 2 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

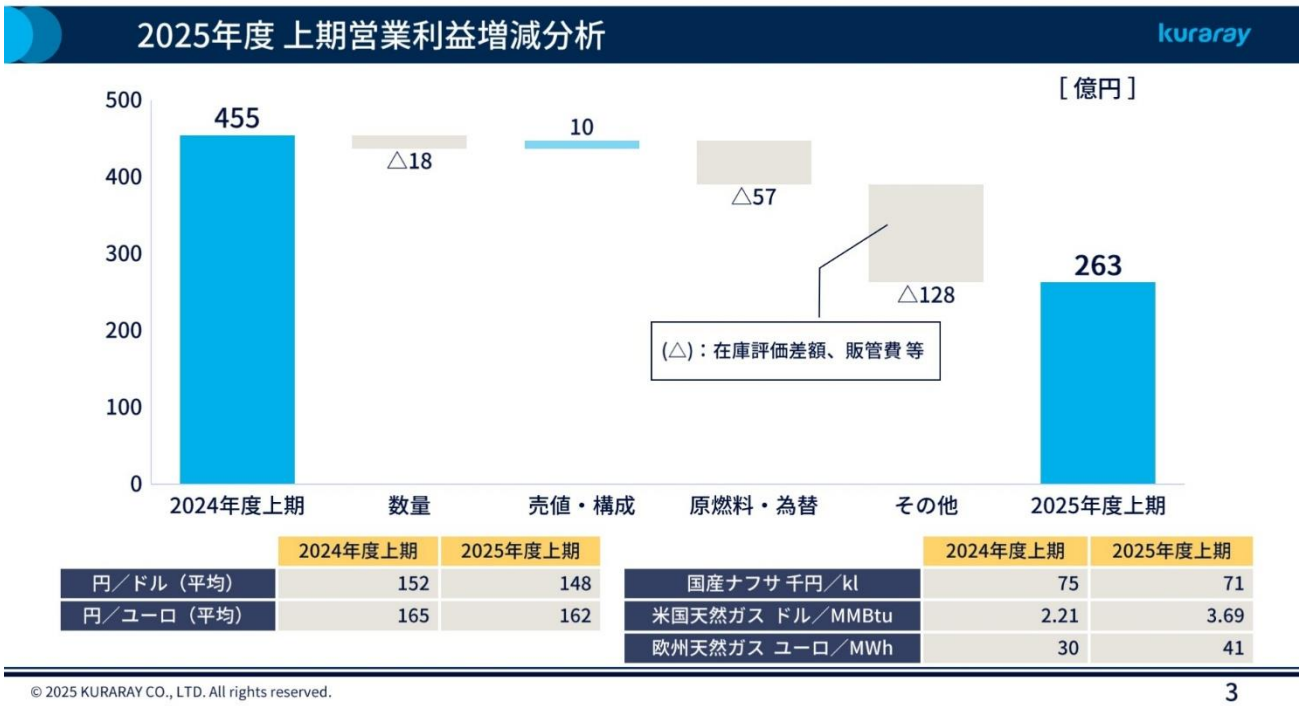
25 年度上期の事業環境は、米国の関税政策等により第 2 四半期以降、特に 6 月以降主要市場での需要減速が顕在化し、今後の不確実性が一層高まりました。

日本では外需の低迷により景気回復に陰りが見られました。米国は内需に支えられ底堅く推移したものの、関税政策により成長が鈍化する見込みが高まりました。欧州経済は緩やかな拡大基調であったものの、先行きに不透明さが増しました。

中国は政府の景気刺激策により個人消費が下支えされたものの、不動産市場を中心に低成長が継続しました。

そのような環境の中で当社グループの実績は、スライドで示しておりますように、売上高は、前年同期比 113 億円減の 4,000 億円、営業利益は在庫評価差額のマイナス影響などを受け、前年同期比で 192 億円減の 263 億円、当期純利益は 164 億円減の 140 億円となりました。

なお、為替及び原燃料の実績は、資料に示してある通りです。

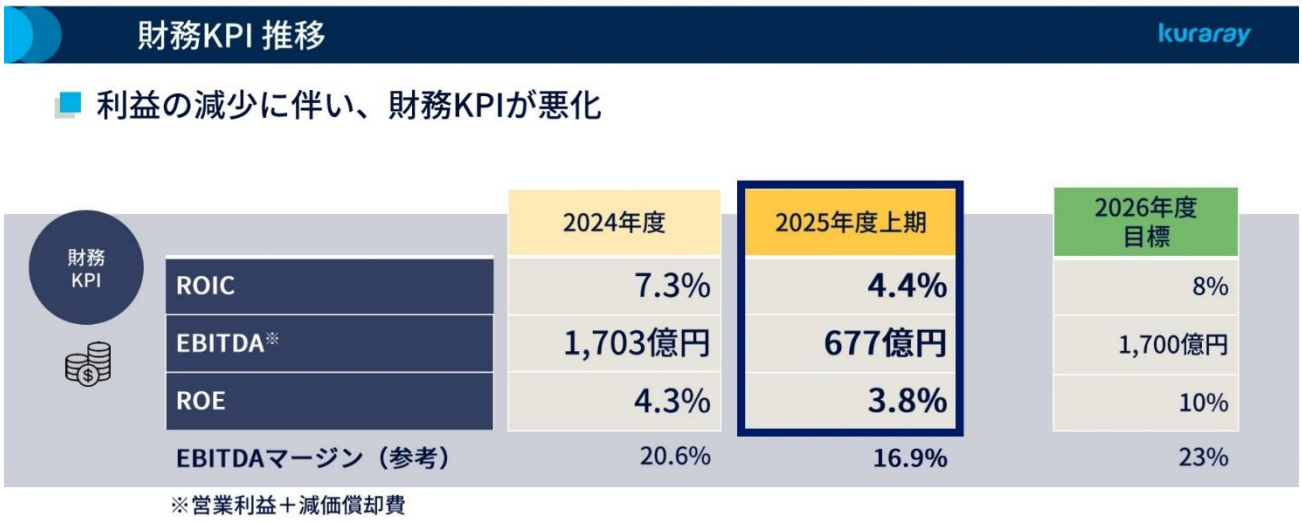


	2024年度上期	2025年度上期
円／ドル（平均）	152	148
円／ユーロ（平均）	165	162

	2024年度上期	2025年度上期
国産ナフサ 千円／kl	75	71
米国天然ガス ドル／MMBtu	2.21	3.69
欧州天然ガス ユーロ／MWh	30	41

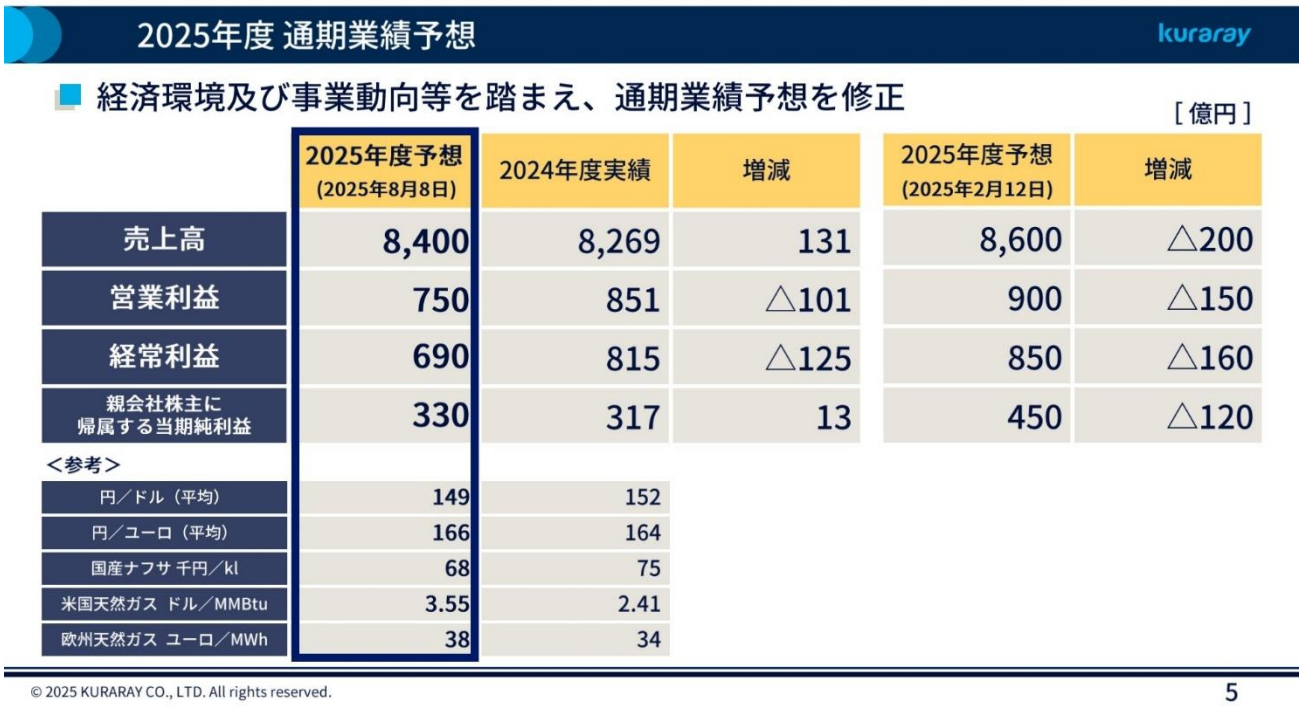
このスライドでは、営業利益の増減要因を前年度対比で示しております。

「原燃料・為替」は、原燃料価格の上昇と為替が円高に振れた影響で、57 億円の減益要因となりました。「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響や販管費の増加などで、128 億円の減益要因となりました。

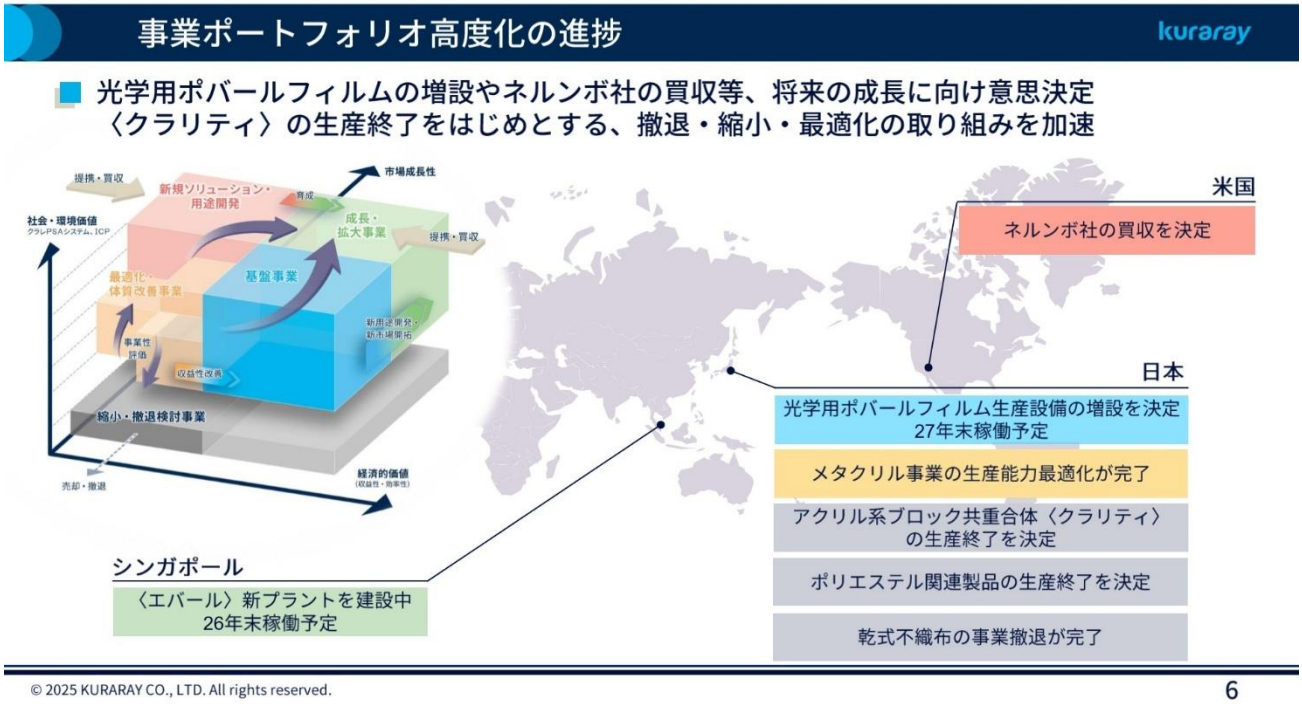


このスライドでは、中期経営計画「PASSION 2026」で掲げた財務 KPI の、25 年度上期の実績を示しています。

利益の減少に伴い、ROIC は 4.4%、EBITDA は 677 億円、ROE は 3.8%という結果となりました。



第 3 四半期以降の世界経済は、米国の関税政策によりさらなる減速が見込まれるなど、不確実性が一層高まっています。当中間連結会計期間の業績、足元の事業動向及び先に述べた経済環境を踏まえ、2 月に公表した通期業績予想を修正し、売上高は 200 億円減の 8,400 億円、営業利益は 150 億円減の 750 億円、当期純利益は 120 億円減の 330 億円といたしました。



このスライドでは、 25 年度上期の事業ポートフォリオ高度化の進捗について示しています。

事業ポートフォリオの評価は、スライド左側に示すイラストの通り、タテ軸の「社会・環境価値」、ヨコ軸の「経済的価値」、そして、奥行方向の軸の「市場成長性」の 3 軸で評価しています。

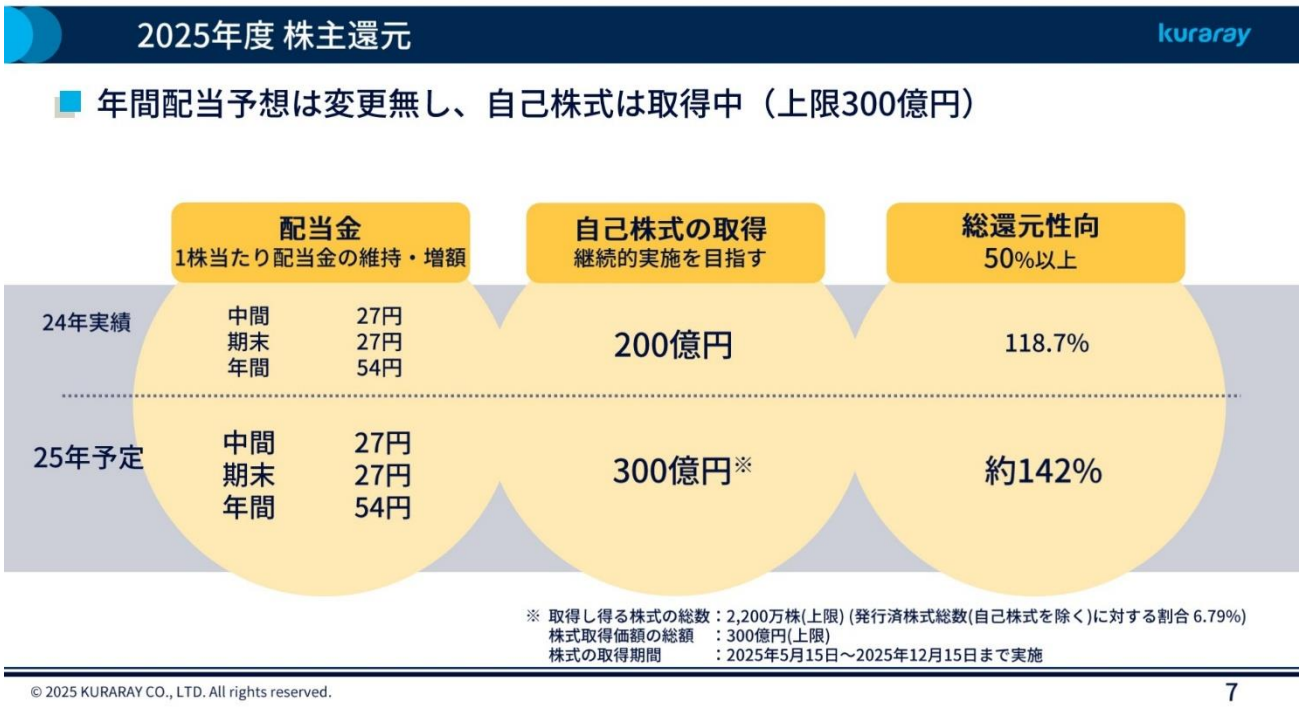
中期経営計画において成長性、競争力の高い事業・製品の見極めを進め、各事業・製品を、イラストで示す 4 色の領域、緑色の「成長・拡大事業」 、水色の「基盤事業」、赤色の「新規ソリューション・用途開発」、オレンジ色の「最適化・体質改善事業」に位置づけました。更に、「最適化・体質改善事業」についての事業性を評価し、事業によっては縮小・撤退を判断しています。

25 年度上期の進捗としては、「基盤事業」として位置づけられる光学用ポバールフィルム生産設備増設を決定しました。「成長・拡大事業」である〈エバール〉のシンガポール新プラントは、順調に建設が進んでいます。スライドには示していませんが、米国の活性炭事業では、再生炭の既存工場の拡充や新工場建設の検討を進めています。

また、中期経営計画で掲げた「3 つの挑戦」の一つ、「ネットワーキングから始めるイノベーション」の成果でもありますが、無機化学による表面加工技術を有する米国ネルンボ社を買収し、「新規ソリューション・用途開発」の取り組みを進めるなど、将来の成長に向けた布石を打ちました。

一方で、アクリル系ブロック共重合体 〈クラリティ〉及びポリエステル関連製品の生産終了の意思決定を行いました。また、昨年公表したメタクリル事業の生産能力最適化や、乾式不織布の事業撤退が完了しました。

今後も事業ポートフォリオ高度に向けて、メリハリを利かせた経営資源の投入を行い、よりサステナブルな事業構造への転換と成長の実現を目指していきます。



当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置付け、「親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向 50%以上、1 株当たり配当金の維持・増額、自己株式取得の継続的実施を目指す」を株主還元方針としています。

通期業績予想は変更しましたが年間配当予想は変更せず、中間配当金 27 円、期末配当金 27 円、年間配当金 54 円といたします。また、5 月に決定しました自己株式の取得は、7 月末時点で 644 万株、117 億円まで進んでいます。

次に、決算の詳しい内容を藤原常務執行役員よりご説明します。

セグメント別 売上高・営業利益

［億円］

	2025年度上期		2024年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,029	299	2,088	439	△60	△140
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	399	△13	375	△40	24	27
機能材料	981	29	1,028	65	△46	△36
繊維	298	△1	312	7	△15	△8
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	339	30	322	27	17	3
その他	221	7	250	9	△29	△2
調整額	△268	△89	△264	△52	△4	△37
合計	4,000	263	4,112	455	△113	△192

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

藤原：引き続きまして、決算内容の詳細につきまして藤原より説明を申し上げます。

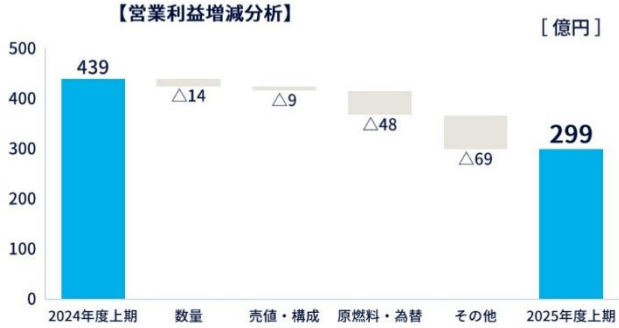
このスライドは、各セグメントの売上高及び営業利益の実績を、前年同期との比較で示しています。ご覧のとおり、イソプレン・トレーディングが増収・増益となりましたが、それ以外のセグメントは減収・減益となりました。

ビニルアセテートセグメントの概要

［億円］

	2024年度上期	2025年度上期	増減
売上高	2,088	2,029	△60
営業利益	439	299	△140

【営業利益増減分析】



ポバール樹脂	販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡し、欧米中心に需要が低調となり減少。在庫評価差額や原燃料価格上昇によりマイナス影響。
光学用ポバールフィルム	中国の家電買替支援策などを背景に販売は堅調に推移したものの、在庫評価差額によりマイナス影響。
高機能中間膜	〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移したが、PVBフィルムはアジアを中心に競争環境の厳しさが増し、建築、自動車用途ともに販売数量が減少。
水溶性ポバールフィルム	個包装洗剤の需要が回復しつつあり、販売数量が増加。
〈エバール〉	食品包装用途は想定ほど販売数量が増えなかったが、引き続き欧米中心に順調に推移し、自動車用途も堅調で販売数量が増加。一方、利益面では在庫評価差額や原燃料価格の上昇等によりマイナス影響。
主な増減要因	欧州経済の低迷等により想定したほど販売数量は増えず、また在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響があり、セグメント全体で減益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.
10

ここからはセグメント別に事業の状況を説明いたします。

最初はビニルアセテートセグメントです。当セグメントは、前年対比で減収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

営業利益は、前年同期比で 140 億円減少しました。「数量」は、欧州経済の低迷等により想定したほど販売数量は増えず、14 億円の減益要因となりました。「原燃料・為替」は、原燃料価格の上昇などで、48 億円の減益要因となりました。「その他」は、昨年実施した米国工場の定修影響で、今年は在庫評価差額による利益の押し上げが無くなったことなどで、69 億円の減益要因となりました。

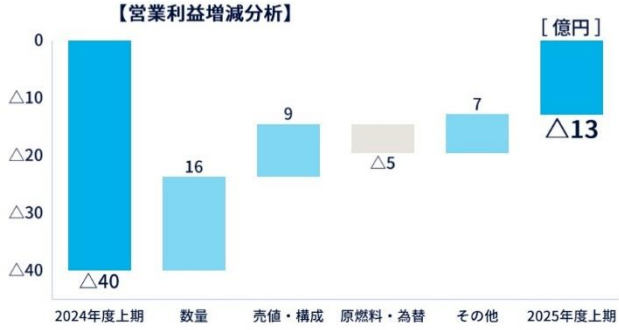
以上のことからセグメント全体で減益となりました。

イソプレンセグメントの概要

［億円］

	2024年度上期	2025年度上期	増減
売上高	375	399	24
営業利益	△40	△13	27

【営業利益増減分析】



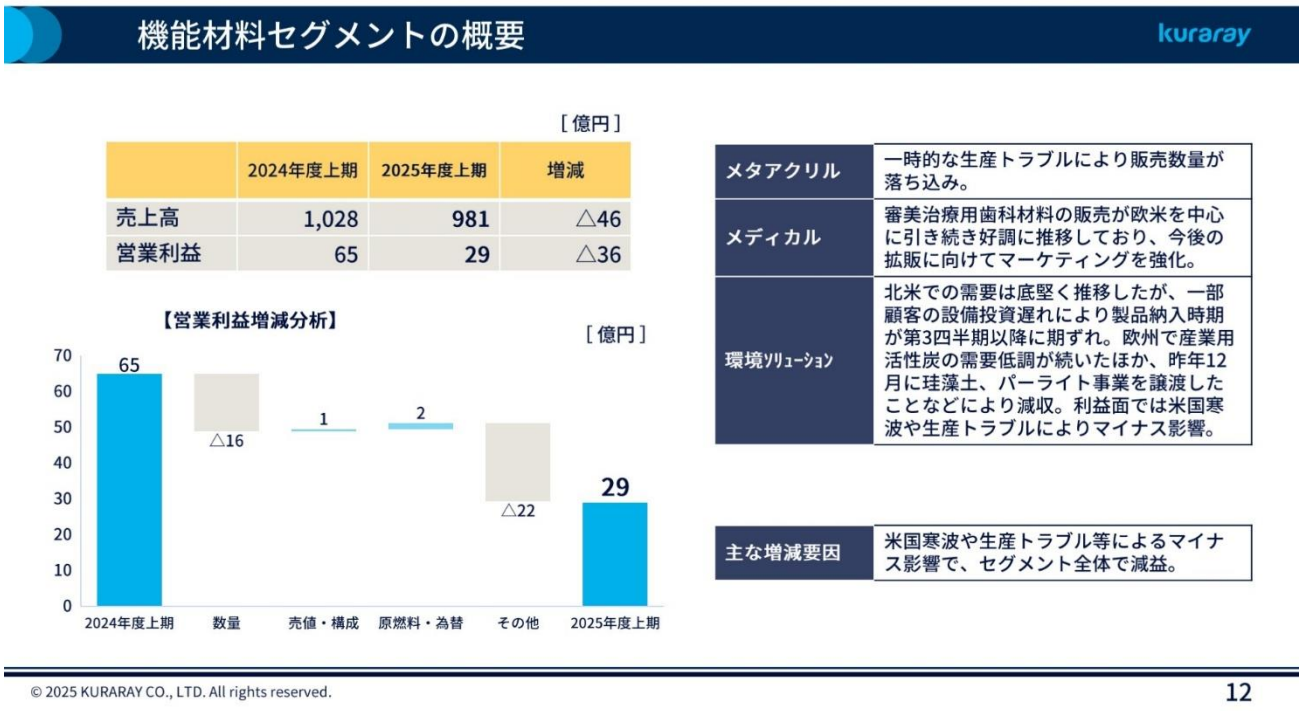
イソプレンケミカル、エラストマー〈ジェネスタ〉	欧米を中心に需要が堅調に推移。販売数量が増加し、販売構成が改善。 電気・電子用途の需要回復が力強く、自動車用途の拡販も進み、販売数量が増加。
主な増減要因	タイ拠点の稼働安定及び当該拠点を活用した拡販による寄与があり、セグメント全体で増益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

次にイソプレンセグメントです。当セグメントは 、前年対比で増収・増益となりました。各事業の販売の状況は、記載のコメントをご覧ください。

「数量」は、タイ拠点の稼働安定及びこの拠点を活用した拡販により販売数量が増え、＋16 億円の増益要因となりました。「売値・構成」は、イソプレンケミカル・エラストマーの販売構成が改善し、+9 億円の増益要因となりました。

以上のことから、セグメント全体の営業利益は+27 億円の増益となりました。



機能材料セグメントは、前年同期比で減収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

「数量」は、活性炭事業において米国寒波影響等で操業が悪化したこと、24 年度末に珪藻土・パーライト事業を譲渡したこと、欧州で産業用活性炭の需要低調が続いたことなどで、16 億円の減益要因となりました。「その他」は、活性炭事業において、米国寒波や生産トラブルによるマイナス影響などがあり、22 億円の減益要因となりました。

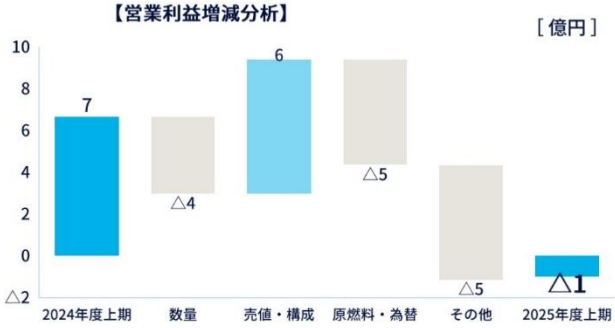
以上のことから、セグメント全体の営業利益は 36 億円の減益となりました。

繊維セグメントの概要

［億円］

	2024年度上期	2025年度上期	増減
売上高	312	298	△15
営業利益	7	△1	△8

【営業利益増減分析】



〈クラリーノ〉	欧州市場での需要低迷や中国経済の成長鈍化、EVの在庫調整の影響等により、ラグジュアリー用途及び自動車用途の需要が落ち込み、販売数量が減少。
繊維資材	欧州の建材用途などが引き続き低調に推移。在庫評価差額によりマイナス影響。

主な増減要因	欧州経済の低迷やEVの在庫調整等による影響を受け、セグメント全体で減益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

13

繊維セグメントは、前年同期比で減収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

「売値・構成」は、ビニロン製品の値上げなどにより、＋6 億円の増益要因となりました。一方で、在庫評価差額のマイナス影響などにより、「その他」は 5 億円の減益要因となりました。

欧州経済の低迷や EV の在庫調整等による影響を受け、セグメント全体の営業利益は 8 億円の減益となりました。

2025年度上期 キャッシュフロー及び主要指標

kuraray

［億円］

	2025年度上期	2024年度上期	増減
営業CF	422	637	△215
投資CF*	△491	△358	△133
フリーCF*	△70	279	△348
設備投資 (受入ベース)	453	349	104
減価償却費 (のれん償却費込み)	414	418	△4
研究開発費	137	123	14

*投資CF、フリーCF：運用資金、M&A関連を除く

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

14

ふたたび、全社まとめの実績についてご説明します。このスライドでは、25 年度上期のキャッシュフロー及び主要な指標についてご説明します。

営業キャッシュフローは 422 億円、投資キャッシュフローはマイナス 491 億円、フリーキャッシュフローはマイナス 70 億円となりました。設備投資の受入ベースは、前年同期比＋104 億円増の 453 億円となりました。減価償却費は 4 億円減の 414 億円、研究開発費は 14 億円増の 137 億円となりました。

貸借対照表①(資産の部)

kuraray

［億円］

	2025年6月末	2024年12月末	増減
流動資産	5,594	5,653	△59
固定資産	6,976	7,260	△284
資産合計	12,570	12,912	△343

	2025年6月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	145	158
円／ユーロ（期末）	170	165

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

15

このスライドでは、貸借対照表の資産の部を昨年末と比較しております。

流動資産は 59 億円の減少となりました。これは、主に現預金や売上債権が減った影響によるものです。また、固定資産は為替が円高になった影響などにより、284 億円の減少となりました。

貸借対照表②(負債と純資産の部)

kuraray

［億円］

	2025年6月末	2024年12月末	増減
流動負債	2,291	1,982	308
固定負債	2,813	3,112	△300
負債合計	5,103	5,094	9
純資産合計	7,466	7,818	△352
負債・純資産合計	12,570	12,912	△343
自己資本比率	58.1%	59.2%	△1.1%

	2025年6月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	145	158
円／ユーロ（期末）	170	165

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

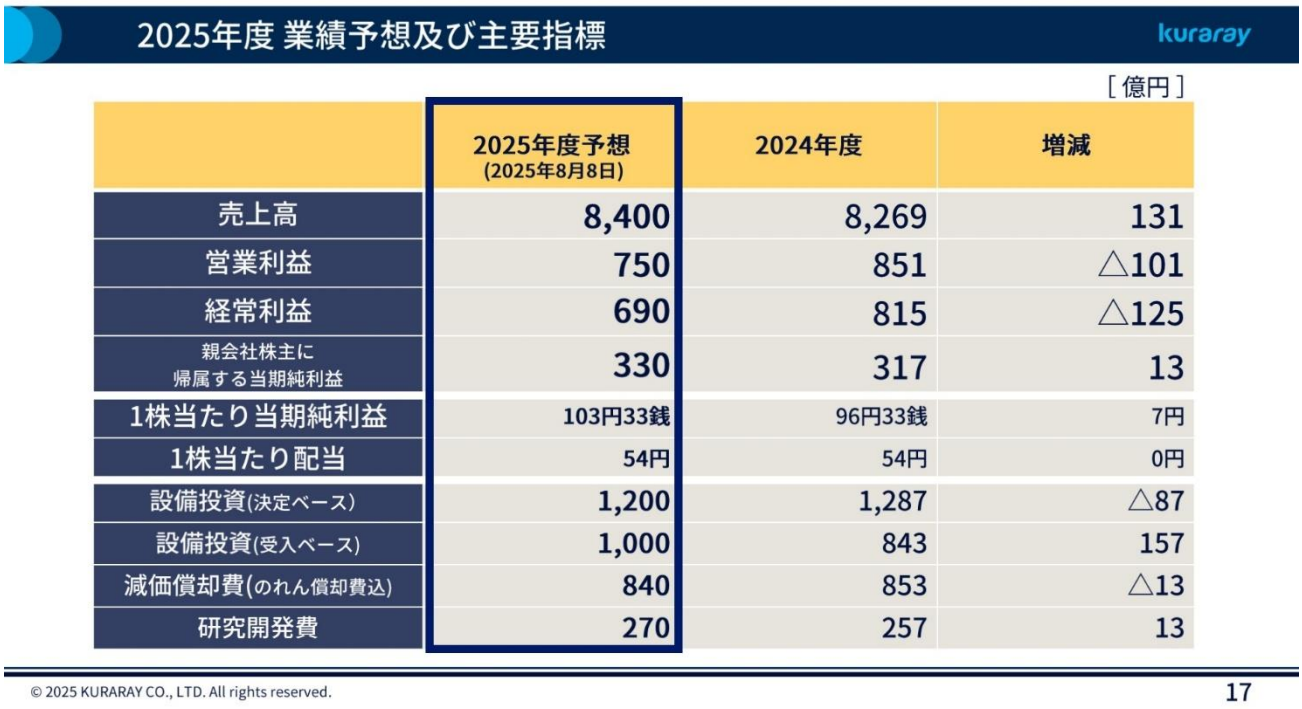
16

このスライドでは、貸借対照表の負債・純資産の部を示しております。

負債は、為替によるマイナス影響があった一方で、短期借入金やコマーシャル・ペーパーが増加し、9 億円の増加となりました。

純資産は、自己株式の取得を進めたことや、為替影響で為替換算調整勘定が 300 億円減少したことなどにより、352 億円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は 1.1%減少し、58.1%となりました。

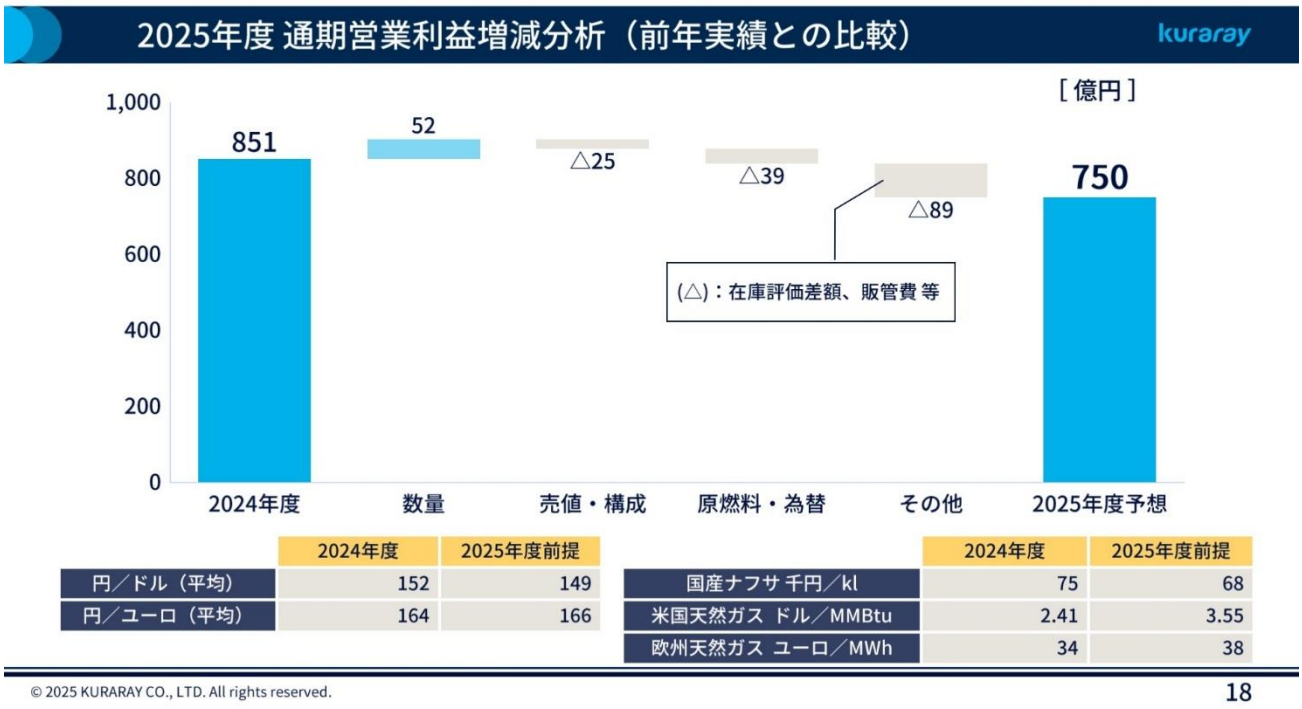


このスライドでは、25 年度通期の業績予想について説明いたします。

売上高及び各利益につきましては、先ほど川原が申し上げた通りです。

一株当たりの当期純利益は、当期純利益 330 億円をベースに 103 円 33 銭となります。配当は、年間 54 円を予定しております。

決定ベースでの設備投資は、本年 6 月に公表しました、光学用ポバールフィルム生産設備の増設を含め、1,200 億円を見込みます。受入ベースは、シンガポールにおける〈エバール〉新プラントの建設が進むことなどにより、1,000 億円を見込んでいます。減価償却費は 13 億円減の 840 億円、研究開発費は 13 億円増の 270 億円となる見込みです。



	2024年度	2025年度前提
円／ドル（平均）	152	149
円／ユーロ（平均）	164	166

	2024年度	2025年度前提
国産ナフサ 千円／kl	75	68
米国天然ガス ドル／MMBtu	2.41	3.55
欧州天然ガス ユーロ／MWh	34	38

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.
18

このスライドでは、24 年度実績対比の営業利益予想の増減要因を示しています。

25 年度は、イソプレンセグメントのタイ拠点の稼働安定及びこの拠点を活用した拡販などにより、「数量」が 52 億円の増益要因となる見込みです。一方で、「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響などで、89 億円の減益要因となり、全体では 101 億円の減益を見込んでいます。

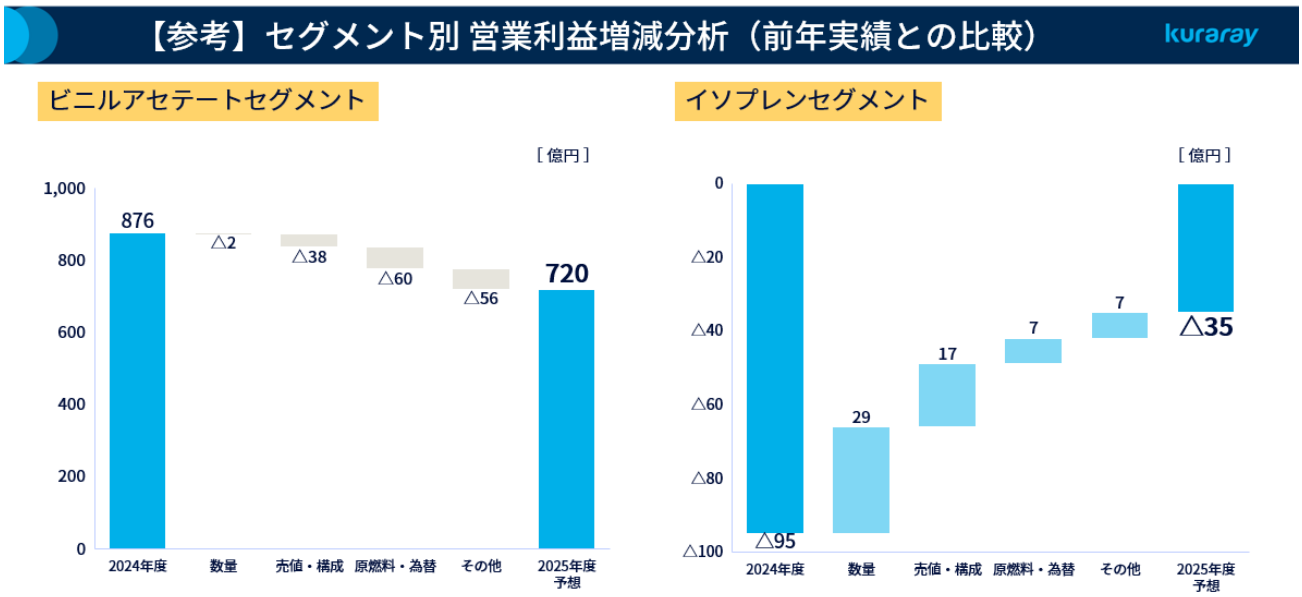
セグメント別 売上高・営業利益比較

［億円］

	2025年度予想 (2025年8月8日)		2024年度 実績		増減		2025年度予想 (2025年2月12日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	4,200	720	4,149	876	51	△156	4,280	810	△80	△90
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	840	△35	764	△95	76	60	850	△45	△10	10
機能材料	2,160	150	2,080	129	80	21	2,210	190	△50	△40
繊維	630	20	627	12	3	8	650	20	△20	0
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	700	65	676	59	24	6	700	65	0	0
その他	425	0	509	23	△84	△23	430	20	△5	△20
調整額	△555	△170	△535	△154	△20	△16	△520	△160	△35	△10
合計	8,400	750	8,269	851	131	△101	8,600	900	△200	△150

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

このスライドでは、今回の修正予想を前年度実績と年初予想とを比較して示しております。



© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

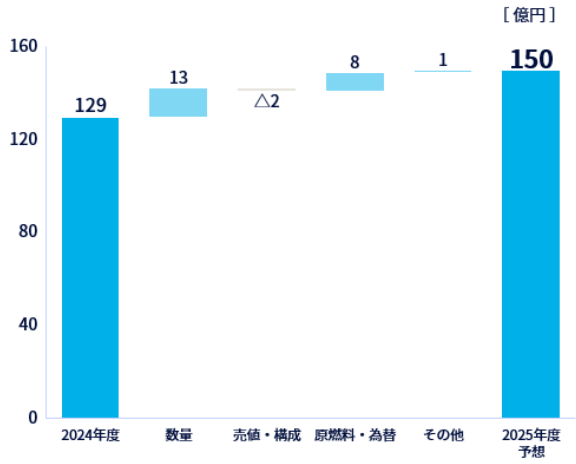
20 ページ目以降は、修正した業績予想のセグメント別の利益増減分析と、詳細のケース情報となりますので、参考までにご覧ください。

なお、今回の通期業績予想を修正したことに関連しまして、一部補足説明をさせていただきます。25 ページ目をご覧ください。

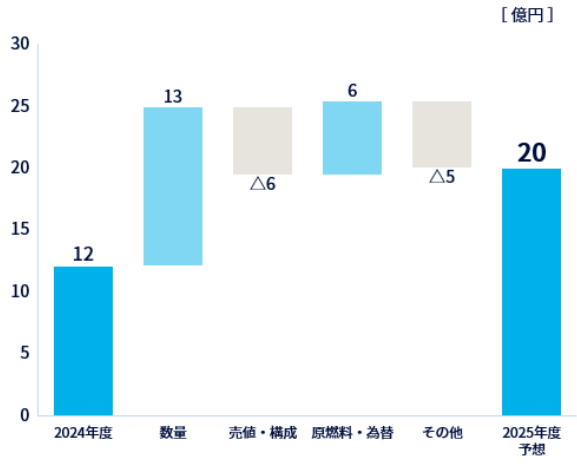
【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前年実績との比較）

kuraray

機能材料セグメント



繊維セグメント



© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】2025年度 業績予想（前年実績との比較、半期）

kuraray

[億円]

	2025年度予想 (2025年8月8日)			2024年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,000	4,400	8,400	4,112	4,157	8,269	△113	244	131
営業利益	263	487	750	455	396	851	△192	91	△101
経常利益	213	477	690	440	375	815	△227	103	△125
親会社株主に帰属する当期純利益	140	190	330	304	13	317	△164	177	13

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 売上高予想（前年実績との比較、半期）

［億円］

	2025年度予想 (2025年8月8日)			2024年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,029	2,171	4,200	2,088	2,061	4,149	△60	110	51
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	399	441	840	375	388	764	24	52	76
機能材料	981	1,179	2,160	1,028	1,052	2,080	△46	126	80
繊維	298	332	630	312	314	627	△15	18	3
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	339	361	700	322	354	676	17	7	24
その他	221	204	425	250	259	509	△29	△55	△84
調整額	△268	△287	△555	△264	△271	△535	△4	△16	△20
合計	4,000	4,400	8,400	4,112	4,157	8,269	△113	244	131

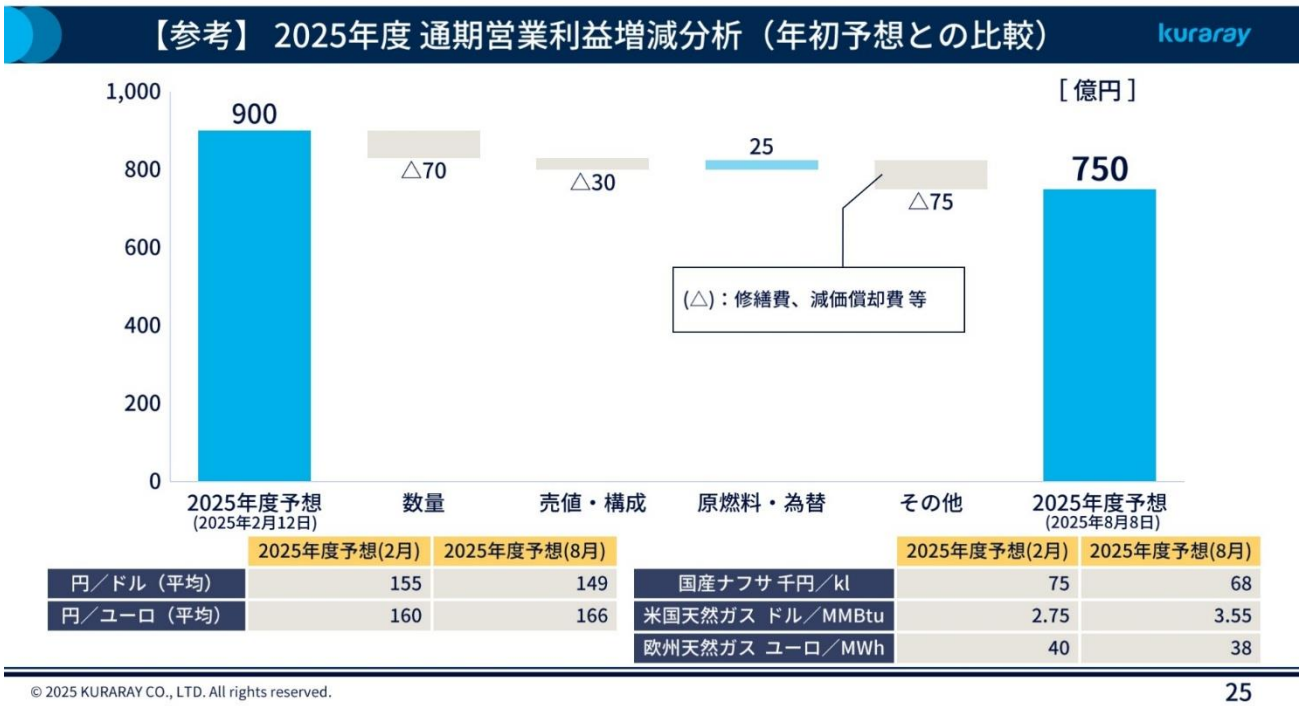
© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 営業利益予想（前年実績との比較、半期）

［億円］

	2025年度予想 (2025年8月8日)			2024年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	299	421	720	439	437	876	△140	△16	△156
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	△13	△22	△35	△40	△55	△95	27	33	60
機能材料	29	121	150	65	65	129	△36	56	21
繊維	△1	21	20	7	5	12	△8	16	8
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	30	35	65	27	32	59	3	3	6
その他	7	△7	0	9	14	23	△2	△21	△23
調整額	△89	△81	△170	△52	△102	△154	△37	21	△16
合計	263	487	750	455	396	851	△192	91	△101

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.



	2025年度予想(2月)	2025年度予想(8月)
円／ドル（平均）	155	149
円／ユーロ（平均）	160	166

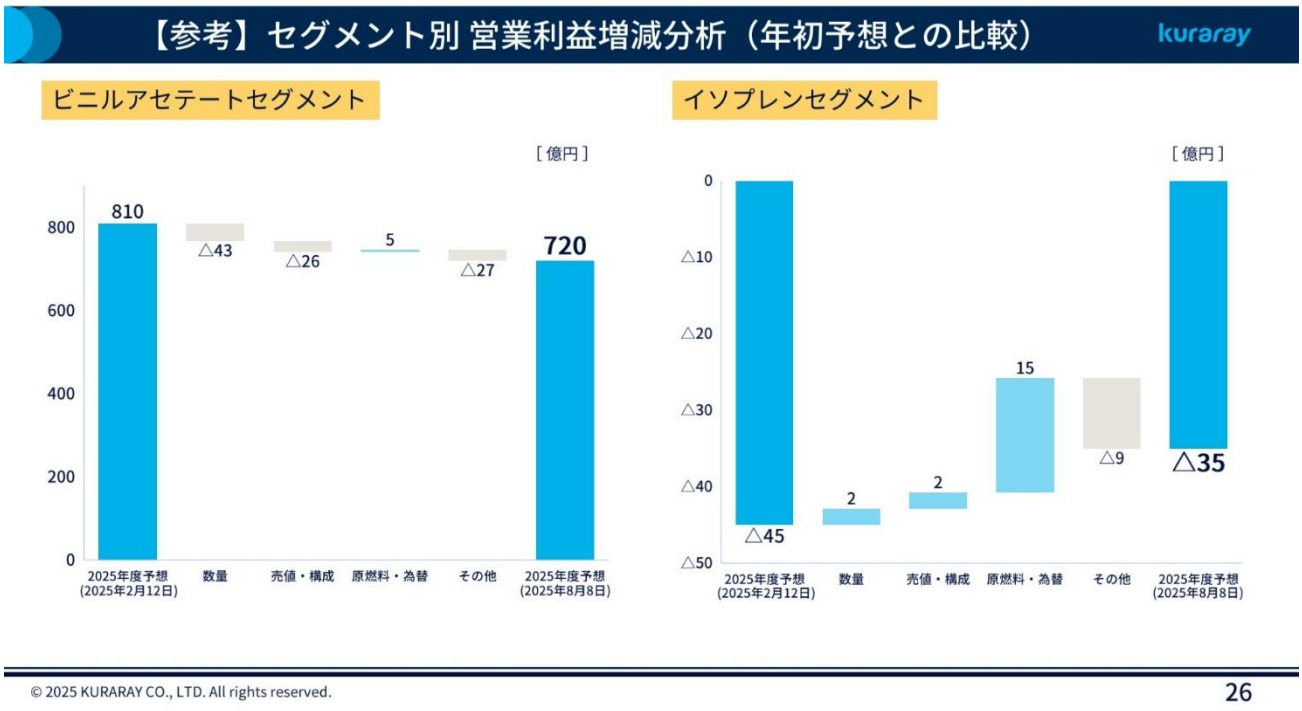
	2025年度予想(2月)	2025年度予想(8月)
国産ナフサ 千円／kl	75	68
米国天然ガス ドル／MMBtu	2.75	3.55
欧州天然ガス ユーロ／MWh	40	38

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.
25

このスライドでは、年初計画比の営業利益予想の増減要因を示しています。

「数量」は、ビニルアセテート関連事業で欧州経済の低迷等による販売数量の下振れや、在庫調整のための減産、欧州の産業用活性炭の需要低調による影響などがあり、70 億円の減益要因となる見込みです。「その他」は、ビニルアセテート関連事業の生産トラブルや活性炭事業の米国寒波影響などで、75 億円の減益要因となる見込みです。

この結果、全体では 150 億円の減益を見込んでいます。



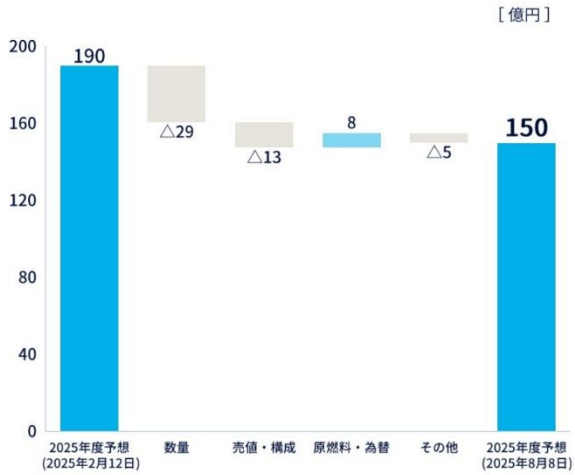
セグメント別では、26 ページ目以降に示しておりますとおり、ビニルアセートセグメントで 90 億円の減益要因、活性炭事業を含む機能材料セグメントで 40 億円の減益要因を見込んでいます。

以上で詳細の説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

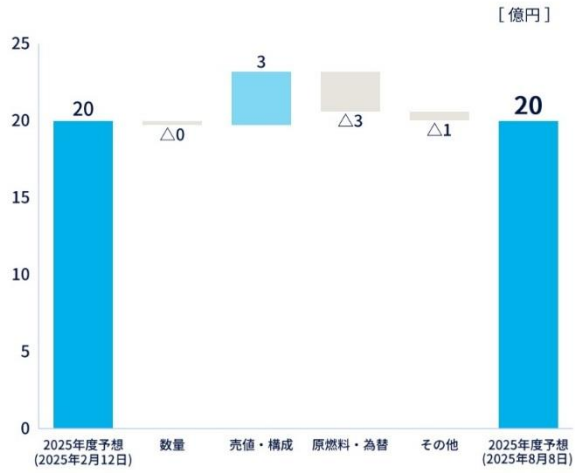
【参考】セグメント別 営業利益増減分析（年初予想との比較）

kuraray

機能材料セグメント



繊維セグメント



© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

kuraray

[億円]

	2024年度					2025年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	990	1,098	1,067	994	4,149	1,004	1,025	2,029
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	172	204	185	203	764	197	203	399
機能材料	487	540	496	557	2,080	476	505	981
繊維	138	174	150	165	627	134	163	298
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	153	169	160	194	676	167	172	339
その他	117	133	121	138	509	111	110	221
調整額	△136	△128	△142	△129	△535	△141	△127	△268
合計	1,922	2,190	2,036	2,121	8,269	1,948	2,052	4,000

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

［億円］

	2024年度					2025年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	248	191	267	170	876	159	140	299
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	0	△40	△15	△39	△95	28	△41	△13
機能材料	32	32	28	36	129	20	9	29
繊維	△2	10	15	△10	12	△6	5	△1
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	13	14	14	18	59	14	17	30
その他	4	5	10	4	23	1	6	7
調整額	△8	△45	△33	△68	△154	△30	△59	△89
合計	288	167	285	112	851	187	76	263

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.